

# 自然文化園の今

自然文化園は昨年4月から市の直営管理となり、ツバキとアジサイの開花時期のみ開園しています。

限定開園とさせていただきます。自然豊かな公園として維持するために、これまで維持管理に要していた経費の検証や公開エリアの縮小、期間を限定した開園方法をはじめとするさまざまな取り組みを実施するとともに、管理方法の見直しや公園としてのあり方の検討を行い、新たな公園づくりに取り組んでいます。

自然文化園は、ツバキとアジサイの名所の一つとして広く知られ、毎年多くの人が来園しています。しかし、近年は積雪による枝折れや株の老朽、生育不足により、花の良栄えが以前より劣ってきていると言われています。特に、アジサイは数年前から園内に鹿が侵入するようになり、新芽を食する「食害」によって開花に大きな影響を及ぼしていることが判明しました。

現在、それぞれに対策を講じていますが、再生には少し年月を必要とします。いずれにしても、市民の皆さんが楽しめる場所にできるよう今後も維持管理に努めます。



## ◆アジサイの豆知識

アジサイは、梅雨時に庭を彩る、古くから広く知られた落葉低木です。日本原産のガクアジサイが、シールボルトによって海外に紹介されたこととされ、西洋で品種改良を重ねられて逆輸入されました。それが西洋アジサイです。品

種、形、色の種類が豊富で、多くの皆さんに親しまれています。アジサイは、丈夫で育てやすいとされ、剪定にコツがあります。一度植え付けられれば、長い間毎年花を咲かせる寿命の長い植物です。

## ツバキ園

自然文化園には、移植された貴重品種をはじめとする約1,500品種のツバキがあり、赤・白・ピンクなど色とりどりのツバキを楽しめる「ツバキ園」を毎年開催しています。今年も当園で見られない貴重なツバキをご覧ください。

【日時】3月11日(金)～27日(日)9時～17時(入園は16時まで)

【料金】500円(小・中学生250円、未就学児無料)

【その他】3月19日(土)～21日(祝)に数量限定で苗木を販売



## ◆ツバキの豆知識

低木から小高木の常緑性で寿命は長いですが、成長はかなり遅い植物です。冬から春(2月～4月)が花期ですが、早咲きものは冬のさなかに咲きます。733年に完成した『出雲風土記』に「椿」という漢字が用いられ、その後も多くの古文献に出てくるなど、古来

から日本人に親しまれてきました。海外に紹介され、カメリア・ジャポニカ(Camellia japonica)と学名がそのまま英語名になっている珍しい植物で、西洋で品種改良を重ねられて逆輸入されています。

## サポーター倶楽部のメンバー募集

ボランティアとして園路清掃やタネ拾いなど自然文化園の維持・管理に職員と一緒に活動する「舞鶴自然文化園サポーター倶楽部」を設立します。参加希望者は、はがきが専用入力フォーム左下コードからアクセス可で住所、氏名、電話番号、メールアドレス(メールアドレスがない場合は不要)の仮登録をお願いします。



仮登録をした人に、具体的な活動内容や本登録などをお知らせします。  
※会員として参加いただくのは本登録後です。

## 【問い合わせ先】

土木課 ☎6255-8555 字北吸1  
044-66-1053、FAX 62-9009  
(4)

## 自然文化園のあり方

昨年12月13日～1月9日に公園・緑化について、アンケート形式で意識調査を行いました。詳細分析はこれからですが、自然文化園に関する項目では、今後も存続を望むという回答が多くあったほか、アジサイ、ツバキのほかにも紅葉など四季折々の景色を楽しめるよう、開園期間の見直しを望まれていることが分かりました。

管理については、民間による管理が望ましいという回答も多くなりましたが、まずは市による直営管理で、しばらくはアジサイ、ツバキを再生し「見せる公園づくり」に努めながら、魅力度向上を目指して、民間活用などの可能性も含め、適正な管理のあり方について検討していきます。

今後、自然文化園を維持していくべきだと思いますか

